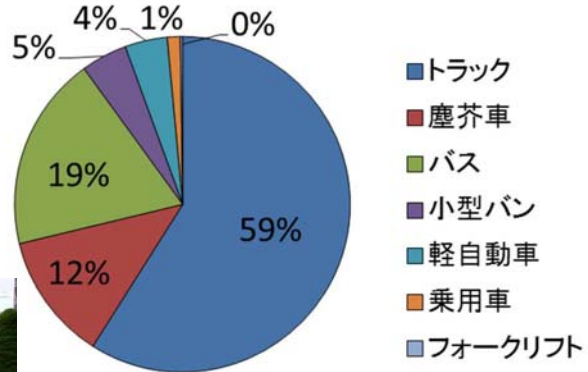


東邦ガス管内のNGV導入実績(2013.3末)

車種	台数	比率
トラック	1,318	42.1%
塵芥車	191	6.1%
バス	151	4.9%
小型バン	588	18.8%
軽自動車	728	23.2%
乗用車	151	4.8%
フォークリフト	5	0.2%
合計	3,132	100.0%

← < 車種別台数 >

- トラック、軽自動車、小型バンの順番に台数が多い。
- トラック系(トラック+塵芥車)で約半分の台数を占める(48.2%)。



< 車種別ガス販売比率 > →

- トラック、塵芥車、バスで全体の9割を占める。



東邦ガス管内天然ガススタンドマップ

H25.3末現在

< 名古屋市内スタンド >

1	名西	西区
2	徳川	東区
3	丸の内	中区
4	ベニックス	名東区
5	八田	中川区
6	ミツウロコ中川運河	中川区
7	桜田	熱田区
8	港明	港区
9	北頭	南区
10	R1鳴海	緑区

< 愛知県、三重県、岐阜県スタンド >

11	グッドハンド稲沢	稲沢市
12	名犬小牧	小牧市
13	瀬戸	瀬戸市
14	日進	日進市
15	メグリア元町	豊田市
16	上郷SA(上り線)	豊田市
17	上郷SA(下り線)	豊田市
18	安城	安城市
19	岡崎	岡崎市
20	新舞子	知多市
21	一宮	一宮市
22	春日井	春日井市
23	セントレア	常滑市
24	東浦	東浦町
25	豊栄	豊田市
26	北名古屋	師勝町
27	武一東海	東海市
28	岐阜	岐阜市
29	羽島	笠松町
30	四日市東インター	四日市市
31	鈴鹿中央通り	鈴鹿市

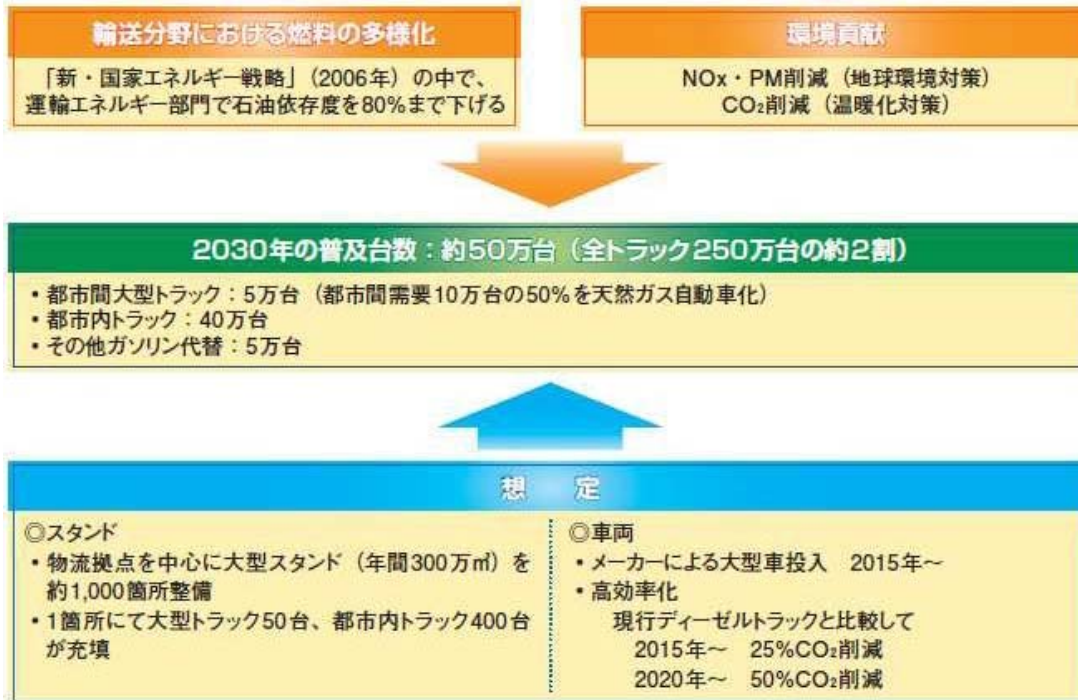


天然ガススタンド外観

< プライベートスタンド >

32	名古屋市交通局 鳴尾車庫	港区
33	佐川急便 名古屋店	港区
34	佐川急便 豊田店	豊田市
35	佐川急便 小牧店	小牧市

天然ガス自動車の今後のビジョン(日本ガス協会)



出展：天然ガス自動車の普及に向けて(一社)日本ガス協会 H25年7月) 3

大型CNGトラックの都市間輸送実証事業(日本ガス協会)

モニター事業の内容

●**車両**
いすゞ製GIGA(車両総重量25t)を株協同(埼玉県)にて、ディーゼルから天然ガス用に改造。

●**モニター**
一企業半年程度の期間、車両を無償で貸し出し、実際の運用における運行記録やガス充填情報等のデータを取得し、燃費(経済性)、CO₂削減量(環境性)を確認します。

モニター協力企業

■住川倉庫株式会社	■札幌通運株式会社
■サントリーロジスティクス株式会社	■三陽輸送有限公司
■シャープ株式会社	■大同貨物自動車株式会社
■トナミ運輸株式会社	■新潟運輸株式会社
■日本通運株式会社	■日本ロジテム株式会社
■パナホーム株式会社(双葉運輸株式会社)	■有限会社ヤマコン
■福山通運株式会社	■ヤマト運輸株式会社
■株式会社ヤマタネ	

●**期間** 平成23年12月から平成26年3月





● 都市 ● 物流拠点、工場等 → 高速道路を利用した都市間輸送 → 高速道路を利用した拠点間輸送

H25年度新規補助事業： 物流の低炭素化促進事業(環境省、国土交通省連携事業)

● 事業の目的

大型CNGトラックを活用した低炭素中距離貨物輸送のモデル(以下「大型CNGトラックモデル」という。)の構築に係る事業計画を策定し、これに基づく車両及び設備導入経費を補助することにより、中距離貨物輸送を担う大型トラック輸送の低炭素化を図ることを目的としています。

● 対象事業の要件

大型CNGトラックモデルを構築するために必要な、大型CNGと大型CNGトラック用天然ガス燃料供給設備(新設のほか、既存設備の増設又は改造も含む。)を導入する事業であって、次のすべての要件に適合したものとします。

- (a) 導入する大型CNGトラックは、車両総重量12トン超の自動車であって、新車新規登録するものであること。
- (b) 導入する大型CNGトラック用天然ガス燃料供給設備は、大型CNGトラックモデルの発着地点又はそのいずれかに整備するものであって、かつ、商用を目的とするものであること。
- (c) 大型CNGトラックモデルの構築に参画するものが共同で申請するものであること。

● 補助金の交付額

補助対象経費の2分の1を補助します。

(H25年度 補助金公募要領から抜粋)

5

中距離貨物輸送分野の低炭素化に係る課題解決型モデル構築事業 国土交通省

【環境省と国土交通省の連携事業:平成25年度予算要求額 2.8億円 (エネルギー対策特別会計)】

- ◆中距離貨物輸送の低炭素化には、大型CNGトラックを用いた輸送システムの確立が必須。
- ◆荷主、トラック事業者、ガス事業者等の関係者が連携し、経済的に成立する高効率な低炭素型中距離貨物輸送モデルを構築し、本格的な普及につながる課題解決の具体的な道筋を示すことが必要。

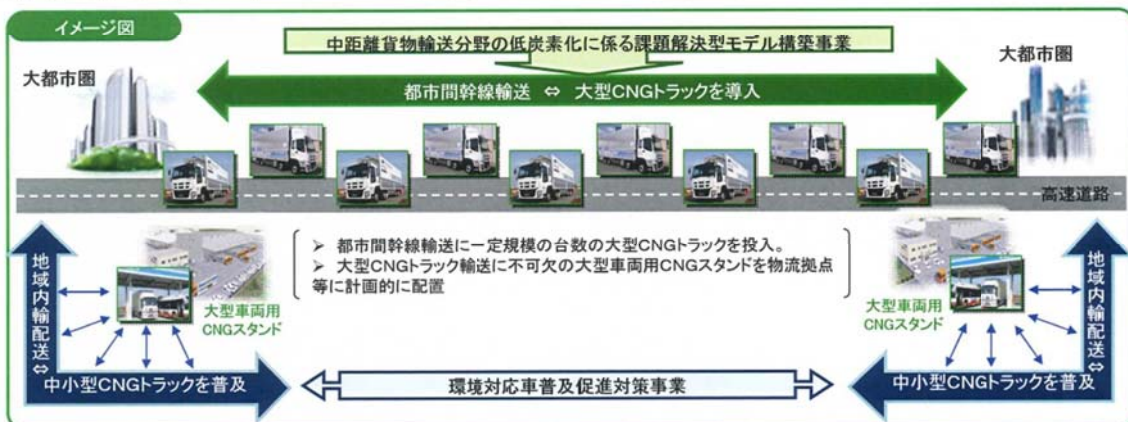
大型CNGトラックによる中距離貨物輸送分野の低炭素化のモデル構築に係る事業計画を策定し、これに基づく設備導入経費を補助することにより、中距離貨物輸送を担う大型トラック輸送の低炭素化を図る。

【補助対象経費】

- ・大型CNGトラック購入費
- ・大型用CNG充填施設の整備費等

【補助率】

補助対象経費の
1/2



(国交省ウェブサイトから引用)

6

H25年度新規補助事業： 物流の低炭素化促進事業の公募結果

事業実施団体名	事業実施場所
東京ガス株式会社	神奈川県横浜市等
東京ガス株式会社	埼玉県白岡市等
一般財団法人環境優良車普及機構	京都府八幡市等
日通トランスポート株式会社	大阪府大阪市等
東邦液化ガス株式会社	愛知県北名古屋市等
九州福山通運株式会社	福岡県福岡市等

(<http://lcspa.jp/offering/offering20131001c.html>)

【佐川急便】大型天然ガストラック導入開始(2013/10/28)

(前段・・・) まず2014年3月をめどに大型天然ガストラック3台を購入し、埼玉・仙台間、東京・名古屋間、名古屋・京都間の3路線における幹線輸送に活用します。これにより年間約11tのCO₂削減効果を見込んでいます。

なお、佐川急便は、東京ガス、東邦液化ガスとのガス事業者と環境優良車普及機構との共同で、環境省・国土交通省の連携事業「低炭素価値向上に向けた二酸化炭素排出抑制対策事業」に応募し、「大型CNGトラックを活用した低炭素中距離貨物輸送のモデル構築事業」として採択されました。(・・・後段略)

(http://www2.sagawa-exp.co.jp/newsrelease/detail/2013/1028_873.html)

7

天然ガス自動車導入促進に資する規制緩和等

天然ガス自動車

- 高圧容器の基準の海外基準との調和
- 車載容器の法体系の変更
- 容器再検査と車検期間との整合
- 高圧容器の転載
- 振動試験の緩和

天然ガススタンド

- ディスペンサーの同アイランド設置
- スタンド関連法規の海外基準との整合
- 蓄ガス器の貯蔵量の上限緩和
- 充填終了圧力の緩和
- 高圧設備の取り換えに関する手続き緩和
- 資格試験機会の増加
- 保安検査周期の延長

関係者との連携

- 国
- 自動車メーカー
- 運送事業者、NGVユーザー等
- 荷主
- 燃料事業者、ガス事業者